

令和3年5月24日

会 員 各 位

一般社団法人大阪府眼科医会
会 長 佐 堀 彰 彦

COVID-19 ワクチン接種事業への協力のお願い

先生方には平素より大阪府眼科医会の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

現在、国家的事業としての COVID-19 ワクチン接種についてはようやく高齢者への一般接種が始まったばかりで、希望者全員への接種が終了するまでにはかなりの期間を要するものと予測されます。現在、医師だけでなく、看護師、薬剤師や歯科医師までもが協力してワクチン接種事業が行われています。

このような状況のもと、厚生労働省からは、眼科医の集団接種への参加ばかりではなく、眼科医療機関の個別接種への積極的な協力の呼びかけがあり、日本眼科医会からも都道府県眼科医会への協力要請が来ております。幾分煩雑な事務作業やアナフィラキシーショック時への対応等が必要になりますが（日眼医 HP メンバーズルーム / 新型コロナウイルス Q&A / 項目 2 -Q26 を参照 https://www.gankaikai.or.jp/members/covid/ncov_qa.html#Q226）、個別接種での協力をしようと思われる先生は今からでも遅くありませんので是非、所属の医師会の方へお申し出願います。なお、アナフィラキシー反応が万一発生した場合の健康被害については、国の補償制度をご確認ください。

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0003.html>)。

また、個別接種はどうしても困難という先生には集団接種の出務をお願い致したく存じます。地区により異なるかもしれませんが、集団接種会場での医師の役割は、予診票をもとに接種対象者の状態を見て接種が可能か判断する（マニュアルあり）ことと主にアナフィラキシーショック時の対応になります。おそらく集団接種では少なくとも 2 名以上の医師が出務することが大半と思われるので、アナフィラキシーショック時の対応は内科などのペアの先生にお任せすることもできるでしょう。もしペアの先生がショック対応で手が離せなくなった時には予診のカバーをすることで十分に貢献できます。

会員の先生方にはよくよくこれらの事情をお汲み取りいただき、所属の医師会を通して、ワクチン接種事業への積極的なご協力をよろしくお願い申し上げます。



令和3年5月18日

都道府県眼科医会 各位

公益社団法人 日本眼科医会

COVID-19 対策本部 本部長

白根 雅子

新型コロナウイルスワクチン接種へのご協力につきまして（お願い）

各位におかれましては、平素よりご協力を頂戴し厚く御礼申し上げます。

このたび厚生労働省医政局医事課より、「眼科医療機関においても、一人でも多くの国民に、新型コロナウイルスワクチンの個別接種ができるように、可能な限りご協力をお願いしたい」との依頼が直接寄せられてまいりました。

ワクチン接種の詳細につきましては、本会ホームページメンバーズルームにある「新型コロナウイルス感染症 Q&A」の 2-Q26「新型コロナウイルスワクチン接種の方法について教えてください。」をご覧ください。

https://www.gankaikai.or.jp/members/covid/ncov_ga.html#Q226

地区により状況や対応方法が大きく異なりますので、まずは所属する地区医師会への連絡が必要です。同省との円滑な協力関係を継続するため、所属する会員に対し各地区医師会と連携のうえ本件にご協力を賜りますよう、伝達よろしくお願い申し上げます。